

家庭内コンポスト作り産業

インドネシア西ジャワ州バンドン市
GRIYA CEMPAKA ARUMの環境フォーラム

By : Dwi Retnastuti



**FORUM KADER LINGKUNGAN
(FOKAL)**

(環境リーダーフォーラム)

GRIYA CEMPAKA ARUM ESTATE

インドネシア西ジャワ州バンドン市

主要問題：

- ✓ 廃棄物の量が毎週増え、ごみ埋め立て地の容量はいっぱいになっているが、誰もが自分の周りでの新たな埋め立て地建設を受け入れたがらない。
- ✓ 廃棄物の問題は都市の環境持続可能性を決定づける課題である。
- ✓ 環境衛生への関心が依然として低い。
- ✓ 廃棄物はその発生源から削減する必要がある。

はじめに：

- ✓ 一部のRWはバンドン市グリーン&クリーンプログラムに参加している。
- ✓ あるRWのグループは、コンポストを製造するための廃棄物処理を自発的におこなっており、ついにはコンポストのための家内産業が形成されている。

目標:

1. 8RWを含むGriya Cempaka Arumから有機性廃棄物を抽出することで、この近隣からの廃棄物を削減できるようにする。
2. 家庭での廃棄物の分別により、コンポスト製造工程を簡略化する。
3. 家庭からコンポスト製造所への廃棄物の輸送システムの構築。

工程フェーズ:

- 容器／ボックスを用いるオープンウィンドウ法を使用
- 混ぜ返し工程は、毎週原料の山から山へと移動させることで行う
- 容器／ボックスの底に三角形の竹を敷き、その中の湿度を常に抑える
- 廃棄物コンポストの湿度および温度を抑制すること

工程フェーズ:

- 廃棄物の混ぜ返しは、コンポスト化プロセスを促進するために必要である。
- 通常第三週目に、容器／ボックスの温度を下げる。
- 第四週目には廃棄物がコンポスト化され、五週目には取り出すことができる。

経費:

- 経費は、コンポストおよび有機性廃棄物(プラスチック、ガラス、びん、缶など)を販売することで賄うことができる。
- kader lingkungan フォーラムに参加する主婦の会費
- 毎月処理される有機性廃棄物の量は150 m³ であり、そこから150Kgのコンポストが製造できる。

Griya Cempaka Arumの 家内コンポスト作り産業現場



コンポスト製造工程



攪拌工程



コンポストの分別 & ふるいがけ



私たちのコンポスト製品 & 利用



大きな変化のための 小さな一歩



think BIG

ご清聴
ありがとうございました

